

未来へ語りつ。私たちの体験

なぎさ小学校 五年三組 千 ダビデ

ぼくは、「人と防災未来センターで岸本さんの話を聞きました。それで思っ、たりに残ったことか、たくんありました。

その中で一番バに残ったのは、おうぎだにやえさんの話です。

おうぎだにさんは、だれか分からないことしている人に、えんぴつをあげようと思っ、たおうぎだにさんがすごいなと思っ、ました。

ぼくは、たぶん、顔も知らない人にはあげないのになと思っ、ました。

ぼくは災害がみんなのつながりを確かめる時だと思っ、ました。災害では一人ではどうにもできないことが、たくんあつて助け合っ、ない生きていけなからです。

阪神・淡路大震災では、近所の人助け合っ、たくさんの人が生きることができまっ、した。

だからぼくは、近所の人とは日ごろから、

あいつなどきしてつながりを作っ
ていいこと
と思いましたが。

話がもどって崇本さんはいろいろ
な国に行
って防災のことを伝えてい
るのがすごいなと
思いました。ぼくが、大人にな
って外国にい
くことになったら防災のこ
とを伝えてようと
思いました。

それでぼくは、今まであまりし
んけんし
ていなかった防災訓練をこ
れからはしんけん
に、「お・は・し・き」を守りな
がらしよう
と思いましたが。

ぼくはしん災の時まだうま
れでなっかたけ
ど、いろんな人たちに地し
んの話をきかせて
もらってきたので地しんのこ
ろさを知らない
人に伝えていきたいです。